

## ○令和8年度「学校経営推進費」支援校の事業計画名と事業内容（概要）

### ① キャリア教育の充実（生徒の希望する進路の実現）

学校名	事業計画名と事業内容（概要）
寝屋川 高等学校	<p><b>大阪公立大学との連携による「みらいの研究者プロジェクト」</b>  <b>－研究者の育成と文理探究科の設置に向けて－</b>            大阪公立大学を拠点とした、産学官が一体となった創薬研究・医薬品開発に携わることで基礎研究力を育成する「みらいの研究者プロジェクト」を確立する。顕微鏡を整備し、大阪公立大学の教授等の指導のもと、研究基礎演習を行うなど、令和11年度の文理探究科のスムーズな立ち上げを実現する。</p>
八尾翠翔 高等学校	<p><b>ほっとS Project ～ 交流の拠点 ～</b>            八尾市内の小中学生の居場所事業である「ほっとS」の発展・深化を図る。壁面ホワイトボードやプロジェクター等を備えた「ほっとS Room」を整備し、本プロジェクトの拠点とする。また、「教職トライコースの生徒（高校生）と不登校児童生徒（小中学生）との異年齢間交流」や「部活動発表・交流会」「生徒会が主体となった交流」などの取組みを踏まえ、生徒の自主性・主体性を育む。</p>
工芸 高等学校	<p><b>伝統×DXによる地域共創デザインプロジェクト</b>  <b>～Design Lab+ サテライトで実現する実装型 PBL～</b>            高性能処理端末や高負荷対応データ管理機材を整備し、次世代制作拠点として「Design Lab（デザインラボ）」を構築し、学科横断型の研究・制作環境を整備することで、DX人材を育成する。また、校外拠点（サテライト）では万博廃材等を活用したプロダクトの発信と地域交流を実施する。これらの取組みを通じて、次世代クリエイターの育成と生徒たちの進路実現をめざす。</p>

### ② 生徒の自立を支える教育の充実（生徒の自立支援）

学校名	事業計画名と事業内容（概要）
西成 高等学校	<p><b>STEP BY STEP 計画（安全・安心を紡ぐケアPJ）</b>            カームダウンボックスやユニット畳・テラス屋根・屋外用ベンチ等を整備し、保健室を居心地の良い空間に改編する。また、養護教諭への健康相談や生徒同士のピアカウンセリング等を通じて、生徒たちの保健衛生的な思考力や対話する力を育む。これらの取組みにより、小中学校で不登校を経験した生徒たちが安心して学習に向かうことができる環境を整備する。</p>
生野 支援学校	<p><b>SWPBS（学校規模ポジティブ行動支援）の全校実装と地域センター的機能の強化</b>  <b>～エビデンスに基づく支援体制の構築による、児童生徒、関係者すべてのQOL向上と府全体への波及～</b>            カラープリンターやラミネーター等を整備し、教材作成等の業務の効率化を図る。また、プロジェクターやスケジュールボードを整理し、全教室で統一した支援を実施する。さらに、センサールームの整備や、感覚調整グッズ、カームダウン用品の整備により、児童生徒の安心感を高め、安定した学校生活の実現につながる。これらの取組みにより、エビデンスに基づくポジティブ行動支援を学校規模で実装する。</p>
堺 支援学校	<p><b>堺支援70年の教育をデジタルトランスフォーメーション！！</b>  <b>～歴史と未来の合わせ技！？古墳のもとで新時代の支援教育を作り出せ！！～</b>            大画面プロジェクターやセンサー・VRゴーグル等を整備し、多感覚を活用することのできる個別最適化された環境の中での学習を通して、主体的・意欲的で深い学びを実現する。また、デジタルアプリケーションと作業学習を融合させ、子どもたちのアイデアを高品質・高精度のモノづくりとしてアウトプットすることで、作品のブランド化をめざし、児童生徒の自己肯定感や自己効力感を高める。</p>